

## 7. スポーツ、文化活動の振興

障がいがある人にとってスポーツや文化活動等の学習活動は、体力の維持や健康増進、社会参加の促進など生活を豊かにする上でも重要な役割を果たしており、気軽に参加できるような機会の提供を図る必要があります。

また、障がい者が主体となる行事による市民との交流を通し、障がい者への理解を促進する催しなどの実施に努める必要があります。

7 スポーツ、文化活動の振興	7-1 スポーツ活動の振興	1. 機会の拡充 2. 人材の育成
	7-2 文化芸術活動の活性化と推進	1. 活性化への支援 2. 人材の育成

## 7-1. スポーツ活動の振興

### ◆◆◆現状と課題◆◆◆

障がい者にとってスポーツ活動とは、単に身体機能の維持、向上を求めるだけではなく、むしろ障がい者が日常生活の中で様々なスポーツを気軽に楽しみ、障がい者と障がいを持たない人とがスポーツを通じた交流により、理解を深めることができるということが重要です。

そのために、スポーツ事業の実施や施設等の整備及び指導員の増員、育成を図り、幅の広い参加機会の拡大に取り組むことが大切です。また、広報・啓発活動の推進により、市民の関心を高め、障がい者の積極的な参加への支援を図ることも必要です。

### 施策の推進方向

#### 1 機会の拡充

障がい者が気軽に参加し、楽しめるような道具、器具、プログラムの開発と、利用する設備についても充実を図ります。

#### 2 人材の育成

専門的技術を持つ指導者の確保及び育成に努めるとともに、ボランティアの人材育成と確保を図ります。

### 主な取り組み

主要事業名	事業内容
スポーツ大会の開催	障がい者と障がいを持たない人とが、スポーツにより交流が図れるように努めます。スポーツ開催者と障がい者との連携強化に努めます。

## 7-2. 文化芸術活動の活性化と推進

### ◆◆◆現状と課題◆◆◆

生活水準の向上や生活様式の変化、労働時間の短縮、平均寿命の伸長などの社会環境の変化に伴い、各個人の余暇時間が増大しており、その過ごし方として、文化・芸術活動の充実が今後の重要な課題となっています。

文化・芸術活動へ参加する機会を確保することは、障がい者の生活の質の向上を図り、ゆとりや生きがいを感じられる生活を実現するために重要なものです。

こうした趣旨から、さらなる文化・芸術活動への参加機会の確保と活動への支援や、障がい者の利用しやすい施設の整備が必要です。

さらに、障がい者が社会の一員として共に楽しみを分かち合えるよう、行事・イベントの実施、指導者の育成、情報提供の充実、各種文化芸術活動の企画・実施と、これらの活動への参加を積極的にすすめることが重要です。

### 施策の推進方向

#### 1 活性化への支援

新たな行事やイベントの実施、活動、発表の場の確保を行い、自主グループ、サークルの育成を図るとともに情報提供に努めます。

#### 2 人材の育成

文化活動に広い見識をもった人材の発掘及び登用を行い、指導者に充てるとともに、文化、レクリエーション活動を支えるボランティアの育成と確保を行います。

### 主な取り組み

主要事業名	事業内容
発表の場の提供	文化祭などに作品を出展できるよう啓発を行い、文化意識の向上に努めます。